

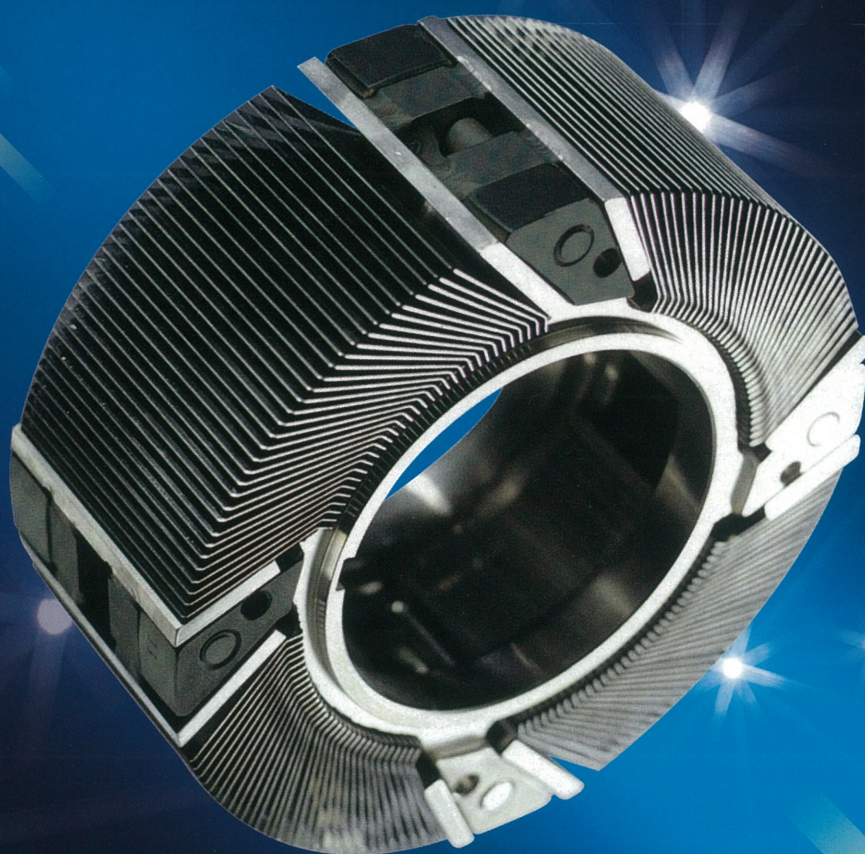
次代の連続式遠心分離機

MKK

三菱分離板型

デカンタセントリフュージ

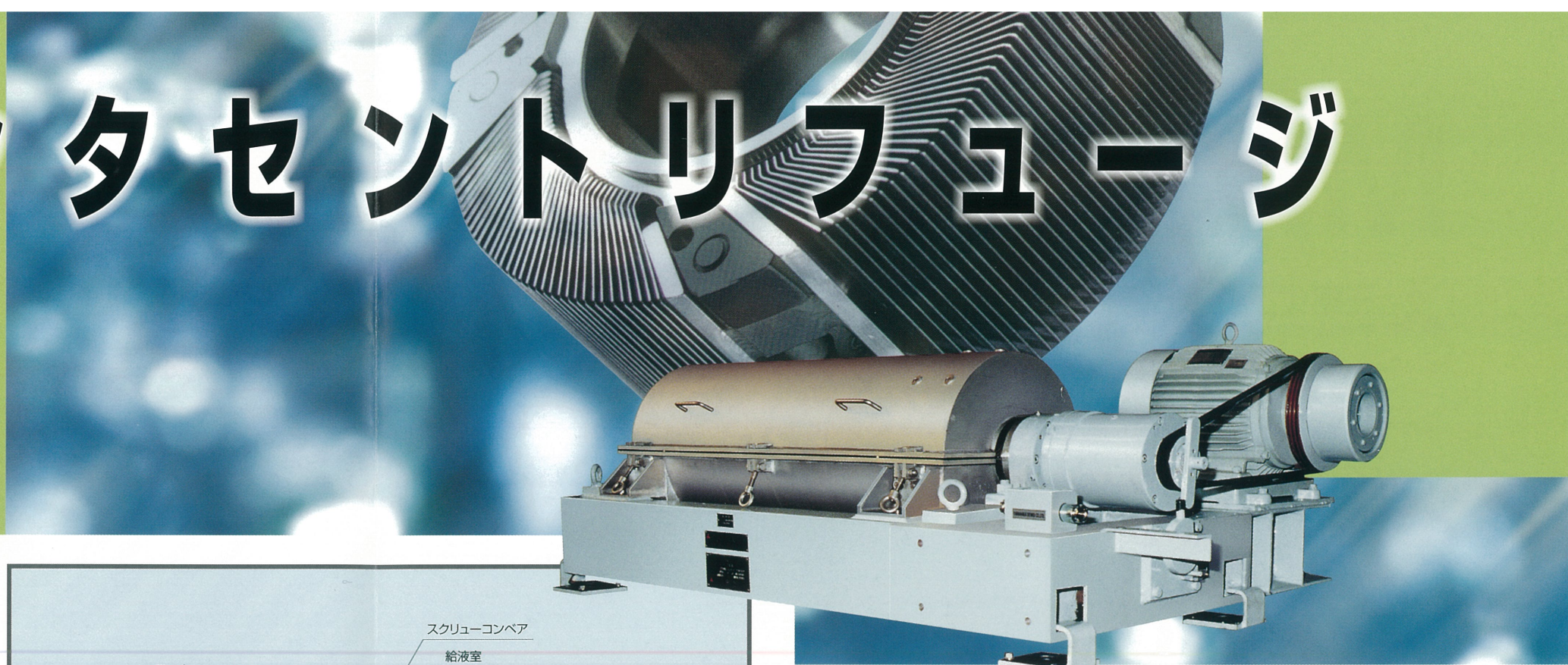
MITSUBISHI VANE DECANTER CENTRIFUGE



三菱化工機株式会社
MITSUBISHI KAKOKI KAISHA, LTD.

分離板型デカンタセントリフュージ

三菱分離板型デカンタセントリフュージは
分離能力を汎用デカンタセントリフュージの
2倍以上にアップ、デカンタセントリフュージの
応用分野を精密分離の範囲へ拡大してゆく
次代の遠心分離機です。



●特 長

1. 汎用デカンタセントリフュージの2倍以上の処理能力

分離板の装着により機器容積当たりの分離能力は汎用デカンタセントリフュージの2倍以上になり、小型機で大容量の処理が可能です。微細粒子でも分離板による沈降促進と整流作用の相乗効果で高い分離効率が期待できます。

2. 配列変更可能な分離板スタック方式

軸方向に配列された分離板がスタックごとに着脱でき、また各スタックごとに分離板枚数の調整が可能です。処理物性状に合わせたスタック構成により最適な分離性能で連続運転を実現します。

3. 分離固形物の脱液排出が可能

分離固形物は回転体内のビーチゾーンで遠心脱液され排出されます。ソフトスラッジの濃縮排出も可能です。

4. 固・液・液スラリーの高效率分離が可能

固液分離のみならず、固形物と水と油などの比重差のある液・液分離清澄への応用ができ、清澄度の高い液を回収できます。

5. 耐久性に優れた耐摩耗対策

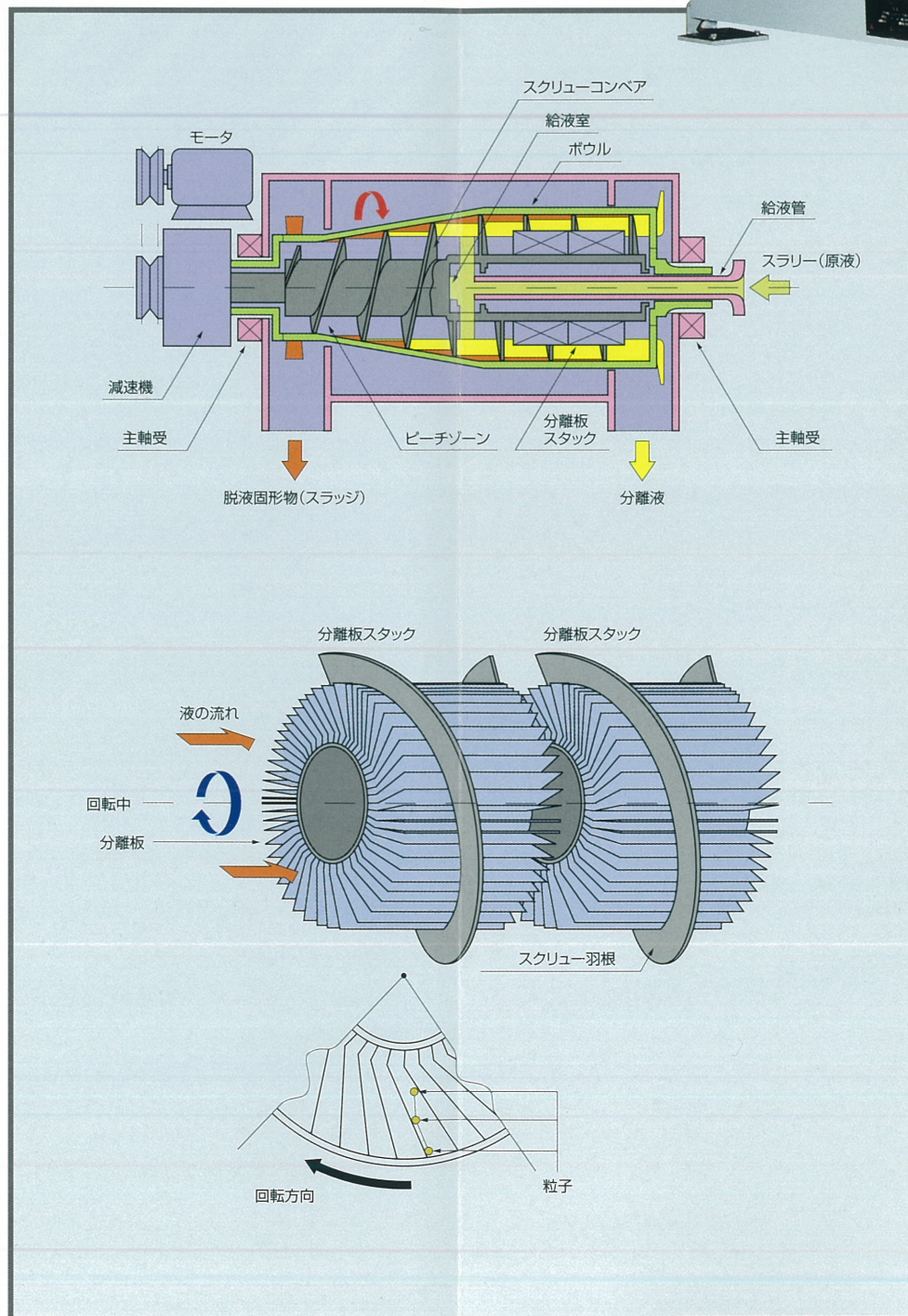
スクリーコンベアには超硬合金・セラミックなどの溶射肉盛りや超硬タイルの取付けによるハードフェーシングが可能で、摩耗に対する耐久性の向上を図れます。

6. 溶剤処理にも適用できるシール機構

常圧下で使用するリングシール、ベーパーミスト防止用ラピンスシール、溶剤下で使用するガスバージドライシールなど処理物に合わせてシール機構が選定できます。

7. バックドライブ機構による適用性の拡大

スクリーコンベアの固形物搬送速度を調整するバックドライブ機構が採用でき、スラリー濃度への追従や脱液度の向上など調整域の拡大を図れます。



●構 造 (PAT.NO.1665178,1930022)

- 分離板型デカンタはボウル、沈降固形物を連続的に排出するスクリーコンベアと、これらに相対差速を与える減速機（ギアボックス）の三要素で構成されています。
- 清澄能力を飛躍的に高めるため、分離ゾーンに多数の分離板（ベーン）が装着されています。
- 分離板の外周には沈降固形物搬送のため、スクリーコンベアが組込まれています。
- 給液管から供給されたスラリーは、スクリーコンベア軸の給液室からボウル内へ分散されます。
- スラリーはスクリー羽根に沿ったスパイラルの流れを形成し、加速させながら分離板部に流入します。
- スラリー中の固形物は、分離板部で分離が行われ清澄された分離液がボウルから排出されます。
- 一方、分離板により分離された固形物は、分離板表面を滑りながらボウル内面方向へ移動しスクリー羽根が巻かれたスラジスペースに溜まります。スラッジは、ボウルよりわずかに遅い速度で回転するスクリー羽根との差速によりボウルのコーン部へ搬送されます。
- コーン部の先端付近は、液に浸ってないビーチゾーンが形成されており、固形物はこのビーチゾーンで脱液された後、連続的に排出されます。

●仕 様

型 式	標準処理量 [m3/h]	最高回転数 min ¹ または r/min	遠心効果 (最大) [G]	電動機 [kW]	外形寸法 [mm]			概略重量 [ton]
					L	W	H	
小型汎用機								
DS-10V	0.4	7000	3000	2.2	1000	500	1000	0.2
中・大型汎用機								
DZ20 ※	1	5200	3000	5.5	1400	1000	600	0.6
DZ20-V1	1.5	5200	3000	5.5	1400	1000	600	0.6
DZ25 ※	3	4600	3000	7.5	1900	1100	700	0.8
DZ25-V1	4.5	4600	3000	7.5	1900	1100	700	0.8
DZ25-V2	6	4600	3000	7.5	1900	1100	700	0.8
DZ35 ※	8	3900	3000	15	2200	1300	800	1.7
DZ35-V1	10	3900	3000	15	2200	1300	800	1.7
DZ35-V2	12	3900	3000	15	2200	1300	800	1.7
DZ35L	10	3900	3000	18.5	2650	1250	800	2
DZ35L-V1	12	3900	3000	18.5	2650	1250	800	2
DZ35L-V2	14	3900	3000	18.5	2650	1250	800	2
DZ50 ※	16	2700	2000	45	3000	1800	1000	3.5
DZ50-V2	19	2700	2000	45	3000	1800	1000	3.5
DZ50-V3	22	2700	2000	45	3000	1800	1000	3.5

※：分離板が設置されない場合の型式

- (注) 1. 処理量は、下水の余剰活性汚泥（濃度 1.5%）での代表値です。
2. 処理条件により表と異なる場合があります。
3. 電動機容量は処理液や特別仕様により変更する場合があります。

●用 途

1	ファインケミカル、新素材分野	微細結晶の分離と脱液回収、 Si ウェーハ加工スラリー回収・リサイクル
2	バイオケミカル、食品分野	有効生体物の濃縮、反応抽出溶液の分離
3	油処理	燃料油、圧延油、潤滑油、廃油
4	排水処理	下水、生物処理、汚泥の濃縮、脱水



<https://www.kakoki.co.jp>

本 社 〒210-8560 川崎市川崎区大川町2番1号
TEL:044-333-5362 FAX : 044-333-6148

産業機械営業部 〒212-0013 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア東館
TEL:044-333-5382 FAX : 044-577-7758
mkkkikai@kakoki.co.jp

大 阪 支 社 〒541-0042 大阪府中央区今橋2丁目5番8号 トレードピア淀屋橋
TEL:06-6231-8001 FAX : 06-6222-4997

川 崎 工 場 〒210-8560 川崎市川崎区大川町2番1号
TEL:044-333-5357 FAX : 044-366-4273

鹿 島 工 場 〒314-0255 茨城県神栖市砂山8番地
TEL:0479-46-1151 FAX : 0479-46-3887